学校番号	３１９

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「詳述歴史総合」　（実教出版）						
副教材等	「詳述歴史総合徹底整理演習ノート」（実教出版）「新詳歴史総合」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

＜事前準備＞
・教科書や資料集に目を通して授業に参加するようにしてください。
・授業ノートを用意してください。授業中配布するプリント等を貼り付け、板書事項や要点を記入していきます。

＜授業展開＞
・教科書準拠の整理演習ノートを活用して、歴史的事象を社会的背景や要因の理解からそのことによって何がどのように変化したのかなどの影響等を多角的に考察していきます。また、その時代の他の地域の様子やつながりなどを意識して歴史地図を読み取ったり、記述したりできるような作業も取り入れていきます。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。
・定期的に確認テストや振り返りシートの記入を行い、知識の定着度をチェックします。

＜事後学習＞
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効率的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（２）近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

（３）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し，表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。	・中学校社会科における学習の成果を生かし，必履修科目である「歴史総合」を学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1編第1章近代化への胎動	1、ヨーロッパの海外進出と市民社会	a:・17 世紀以降のヨーロッパの交易活動の展開と，それがヨーロッパの社会や人々の生活に与えた影響について理解している。 ・p.26 の Approach や Check，p.24 の「アジア諸帝国と海域世界の繁栄」の記述を活用し，中国産の陶磁器がヨーロッパに与えた影響を読みとり，まとめることができる。 b:・ヨーロッパとアジアの貿易の展開について，p.38～39「Active」の資料も活用しながら多面的に考察している。 ・啓蒙思想がヨーロッパの政治や社会に与えた影響について，p.27 の Try を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c:・啓蒙思想がその後のヨーロッパに与えた影響について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		2、清の繁栄	a：・p28 の Approach，資料①，地図②を活用し，清の皇帝が地域に応じて皇帝，ハンなど立場を使い分けて広大な領域を統治したことについて理解している。 ・p.29 の写真⑤，p.25 の「銀の流通」についての記述を活用して，世界経済の主要通貨であった銀とその影響について理解している。 b：・清が長期間繁栄した理由について，p.29 の Try を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 ・銀の流入と清の経済活動の発展について，p.29 の check や資料⑤を活用ししながら多面的に考察している。 c：・イエズス会宣教師の活動がもたらした東西文明の交流とその影響について，主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		3、東アジア諸国間の貿易	a：・p.30 の Approach，図版①②を活用して，冊封体制について理解している。 ・p.31 の Check を活用し，アジア各地域間やアジアとヨーロッパの貿易で取り引きされた物品をまとめることができる。 b：・清や日本が管理貿易を実施した背景について，p.30 の用語解説，p.31 の Try を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 ・アジアとヨーロッパの交易について p.38「Active」の資料や p.30 の用語解説を活用しながら多面的に考察している。 c：・中国を中心とする冊封体制について，主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		4、江戸時代の日本の対外政策	a：・p.34 の図版①，グラフ②を活用して，交易を管理していた江戸幕府の支配体制について理解している。 b：・鎖国とよばれる貿易の管理体制について，p.35 の地図④を活用しながら 協働的に考察し，適切に表現している。 c：・長崎以外の三つの口を通してつながった地域の明治時代末の状況について，主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		5、江戸時代の社会と生活	a：・p.36 の表③を活用して，18 世紀の幕府の政治について理解している。 ・p.36 の Approach，Check を活用して，陸路や海路の流通網や要の都市について，まとめることができる。 b：・18 世紀の農業，商業の発展，人口の増加とそれにともなう新しい社会制度について，p.37 のグラフ⑥⑦を活用しながら，多面的に考察している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，p.37 の Try を活用して江戸時代の村の生活について学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	第2章欧米の市民革命と国民国家の形成	6、イギリス産業革命	a：・p.44 の Approach，図版①②を活用して，技術革新などイギリスで産業革命がすすんだ要因について，まとめることができる。 b：・都市への人口集中とその影響など産業革命によって生じた社会の変化について，p.45 の Check と地図⑤，図版⑥を活用しながら，多面的に考察している。 c：・p.45 の Link コラムを活用して，よりよい社会の実現を視野に，産業の発展とその影響について学習したことを現在の環境問題の解決に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		7、アメリカ独立革命	a：・p.27 の啓蒙思想の記述，p.46 の Approach，図版①と Check を活用して，アメリカ独立戦争が生じた背景を理解している。 ・p.47 のアメリカ独立宣言の資料を活用して，独立の目的を読み取り，まとめることができる。 b：・アメリカ独立革命の意義や建国後のアメリカ合衆国の課題について，p.47 のアメリカ独立宣言の資料と Check を活用しながら，多面的に考察している。 c：・p.47 の Link コラムを活用して，よりよい社会の実現を視野に，アメリカ独立革命について学習したことを現代政治の諸課題の解決に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		8、フランス革命とナポレオン	a：・フランス革命の背景について，p.44 の産業革命の記述を活用して，同時代のイギリスと比較して遅れていたフランス社会の情勢を理解している。 ・p.48 の Approach，図版①と Check を活用して，フランス革命前後の政治体制の変化について，まとめることができる。 ・p.48 のフランス人権宣言の資料を活用して，自由と平等など当時のフランス人がめざした理念を理解している。 b：・アメリカ独立革命やフランス革命の意義について，p.49 の Try を活用して多面的に考察している。 c：・p.48 の Link コラムや p.49 のナポレオン法典の用語解説を活用して，女性の人権について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		9、ウィーン体制	a：・p.52 の Approach，地図①，図版③，表④を活用して，ウィーン会議の目的やフランス革命後の新たな国際秩序を理解している。 ・p.53 の図版⑤，Check を活用し，ウィーン体制期に自由主義，ナショナリズム，社会主義の思想や運動が広がったことを理解している b：・1848 年の革命の意義や影響について，p.50 の図版①，p.53 の地図⑥，Close Up コラム，Try を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 ・p.27 の地図④，p.49 の地図④，p.52 の地図②・Check，教科書巻末の現在の地図を活用して，各国の領域の変化について多面的に考察している。 c：・p.53 の Check を活用して，ウィーン体制期の自由主義運動について主体的に追究して，明治期日本の政治的自由を求める運動との比較という課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		10、19世紀のイギリスとフランス	a：・p.54 の Approach，図版①②を活用して，19 世紀後半のイギリスやフランスの政治や経済の改革について，まとめることができる。 b：・産業革命を背景とする労働者階級の形成と参政権の要求，社会主義思想の発達などについて，p.45 の産業社会の成立についての記述，p.44 の Approach・図版①②を活用して多面的に考察している。 ・19 世紀後半のイギリスとフランスの発展の要因について，p.44 のイギリス産業革命，p.48 のフランス革命の記述を活用して多面的に考察している。 c：・p.55 の Try を活用して，19 世紀の市民文化について主体的に追究して，現在の生活様式とのつながりという課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		11、イタリア・ドイツの統一	a：・p.56 の図版①，地図②，Key Person を活用して，イタリアの統一過程をまとめることができる。 ・p.56 の地図②，p.57 の図版③，Key Person を活用して，ドイツの統一の過程をまとめることができる。 ・p.50 の STET UP「国民国家の成立」についての記述をふりかえって，イタリア・ドイツの統一がすすんだ背景について理解している。 b：・イタリア，ドイツ，日本の統一の過程の共通点と相違点について，p.56 の Approach ，p.57 の Try， Close Up コラムを活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.57 の Close Up コラムを活用して，よりよい社会の実現を視野に，国民国家の形成について主体的に追究して，イタリア，ドイツ，日本の比較という課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		12、東方問題と19世紀のロシア	a：・p.59 の地図④を活用して，19 世紀のロシアのバルカン半島の南下政策の展開，またイギリスが南下を阻止しようとした背景を理解している。 ・p.59 の Key Person を活用して，クリミア戦争後のロシアの改革を理解している。 b：・ロシアの南下政策の目的とイギリスが阻止しようとする理由など東方問題について，p.58 の用語解説，Approach，図版①，地図②，Check を活用して多面的に考察している。 c：・p.59 の Try を活用して，ロシアの南下政策について主体的に追究して，その後の国際関係に与えた影響を意欲的に考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		13、アメリカの発展と分裂	a：・p.60 の Approach，図版①・③，地図②，Check を活用して，アメリカの領土拡大で，先住民の迫害や南北の対立が強まったことを理解している。 ・南北の対立の要因について，奴隷問題，イギリスとの経済関係など南北の違いについて整理してまとめることができる。 b：・南北戦争後のアメリカ社会の変化について，p.61 の図版④・⑤・⑥，Try を活用しながら，協働的に考察し，適切に表現している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，南北戦争と奴隷制の廃止について学習したことを現在の人種差別問題の解決に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		14、世界市場の形成	a：・p.62 の図版①，地図②を活用して，また p.44 のイギリス産業革命についての記述をふりかえって，工業化で「世界の工場」となったイギリスを中心に，国際的な経済秩序が形成されたことを理解している。 b：・交通や情報ネットワークの発達による世界の一体化とその影響について，p.63 の地図⑤，Close Up コラム，Try を活用して多面的に考察している。 c：・p.63 の Check を活用して，世界の一体化について主体的に追究して，明治期日本に与えた影響を意欲的に考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

	第3章アジアの変容と日本の近代化	15、イスラーム世界の改革と再編	a：・p.68 の Approach，p.69 の Key Person，Try を活用して，ヨーロッパ諸国の進出に対するイスラーム世界の抵抗運動や近代化のための改革について，まとめることができる。 ・p.66～67 の地図を活用して，イギリスがエジプト支配を重視した背景を理解している。 b：・オスマン帝国における憲法制定の動きについて，p.68 のミドハト憲法の資料を活用して協働的に考察し，適切に表現している。 ・p.58 の東方問題についての記述をふりかえって，イギリスのエジプト支配について多面的に考察している。 c：・p.69 の Link コラムを活用して，アジアの近代化について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		16、南アジア・東南アジアの改革と再編	a：・p.70 の図版②・③を活用して，また，p.44 のイギリスの綿工業の発達につての記述，p.62 のパクス=ブリタニカの記述，p.65 のグラフをふりかえって，イギリスのインド支配とその影響を理解している。 ・p.71 の地図④を活用して，ヨーロッパ諸国による東南アジアの植民地化について，まとめることができる。 ・p.66～67 の地図を活用して，イギリスのインド支配とエジプト進出の関係を理解している。 b：・ヨーロッパ諸国の進出が南アジア・東南アジアにもたらした影響について，p.70 の地図①，図版②，p.71 の Try を活用して，また p.62 のパクス=ブリタニカの記述をふりかえって多面的に考察している。 c：・p71 の Try を活用して，南アジア・東南アジアの植民地化について主体的に追究して，現代まで及んでいる諸問題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		17、アヘン戦争の衝撃	a：・p.72 の図版①・②，図③を活用して，また，p.31 の清の管理貿易についての記述，p.44 のイギリス産業革命についての記述，p.65 のグラフをふりかえって，アヘン戦争・アロー戦争が生じた背景と中国の貿易政策の変化について理解している。 b：・アヘン戦争が欧米諸国，中国，日本に与えた影響について，p.72 の Approach ，p.73 の Try を活用して協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.64 の ACTIVE を活用して，アヘン戦争やインドの植民地化など 19 世紀の「大分岐」について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		18、ゆらぐ幕藩体制	a：・p.74 の Approach ，地図②，p.75 の Try を活用して，18 世紀末以降の外国船の来航と日本の対応について，まとめることができる。 b：・外国船来航の増加と欧米社会の変化との関連について，折込 3 の地図「19 世紀前半の世界」，p.74 の Approach ，地図②を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.75 の Close Up コラムを活用して，国民意識形成の下地がどのようにつくられていったのかを主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		19、開国	a：・p.77 の地図④を活用して，日米和親条約・日米修好通商条約の内容をまとめることができる。 ・p.77 のグラフ⑤・⑥を活用して，開港後の貿易の状況について理解している。 b：・黒船の来航を日本の人々がどのようにみていたのかについて，p.76 の Approach，史料，図版②を活用しながら多面的に考察している。 c：・p77 の Try を活用して，日米修好通商条約と南京条約の共通点と相違点について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		20、幕末政局と社会変動	a：・p.78 の図版①，写真②，p.79 の図版③，Key Person を活用して，大政奉還，王政復古までの政局と社会の動きについてまとめることができる。 b：・日本の近代化と諸外国の近代化の共通点と相違点について，p.79 の Check を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p79 の Close Up コラム，p.68～73 の記述を活用して，幕末の脱藩士や草莽の志士の活動と，明治以降の制度改革とのつながりについて主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		21、新政府の成立と諸改革	a：・p.80 の Approach，史料「五か条の誓文」「五榜の掲示」，p.81 の Try を活用して，明治新政府が変えようとしたもの，変えなかったものについてまとめることができる。 b：・地券の発行によって確定した内容と人々への影響について，p.81 の図版②･③，Check を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.81 の Check，p.48 の史料「フランス人権宣言」を活用して，フランスと日本ですすんだ身分制の廃止について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		22、富国強兵と文明開化	a：・p.82 の図版①，Approach，史料「富岡製糸場で働く工女の日記」，Check を活用して，殖産興業政策のねらい，展開について理解している。 ・p.83 の図版③，Try を活用して，文明開化の内実，人々の反応について理解している。 b：・欧米における徴兵制や学校教育開始の実情について， p.82 の Check，p.48～61 の記述を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.83 の Key Person，p.85 の ACTIVE を活用して，明六社の人物が文明開化をどのようにとらえていたかについて主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		23、近代的な国際関係と国境・領土の画定	a：・p.86 の写真①，Approach，史料「岩倉使節団がみた東南アジア」を活用して，岩倉使節団の歴史的意義について理解している。 ・p.87 の地図④を活用して明治初期の国境について理解している。 b：・国境の画定と国民国家の形成について，p.87 の地図④，p.90 の STEP UP の記述を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.87 の写真③，Try を活用して，日本の国境画定を沖縄やアイヌの人々の視点からとらえなおし，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		24、自由民権運動の高まり	a：・p.89 の年表④を活用して，自由民権運動の始まりから立憲国家成立に至る過程をまとめることができる。 ・p.89 の地図⑤を活用して，自由民権運動に関連した主な事件の位置と内容を理解している。 b：・天賦人権思想をめぐる日本，アメリカ，フランスの表現方法について，p.89 の Check，p.88 の Link コラム，p.47 の史料「アメリカ独立宣言」，p.48 の史料「フランス人権宣言」を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.88 の Approach，p.89 の Try を活用して，自由民権運動に参加した人々がどのような意識で参加し，どのような社会をめざしていたかについて主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		25、立憲国家の成立	a：・p.92 の史料「五日市憲法」，史料「東洋大日本国国憲按」を活用して，私擬憲法の独創性を理解している。 ・p.93 の史料「大日本帝国憲法」を活用して，憲法の特色を理解している。 b：・日本とオスマン帝国の政治体制について，p.93 の Check，史料「大日本帝国憲法」，p.68 の史料「ミドハト憲法」を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.92 の Approach，p.93 の Try，p.93 の史料「大日本帝国憲法」，p.178 の史料「日本国憲法前文」「日本国憲法条文」を活用して，大日本帝国憲法と現行の日本国憲法を比較し，共通点・相違点について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

	第4章帝国主義の時代	26、帝国主義と世界分割	a：・p.99 の地図④，図版⑤・⑥，Try を活用して，欧米諸国によるアフリカ，太平洋地域の分割とその影響について，まとめることができる。 ・p.98 の Approach ，図版①を活用して，国家と企業の結びつきが強まり，独占資本の形成を背景に，各国の帝国主義政策がすすめられたことを理解している。 b：・帝国主義時代が到来した背景について，p.98 の Approach，図版①と Check，グラフ②を活用して，多面的に考察している。 ・p.44 のイギリス産業革命についての記述をふりかえって，第 2 次産業革命との違いについて多面的に考察している。 c：・p.98 の Check を活用して，第 2 次産業革命について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		27、帝国主義期の欧米社会	a：・p.100 の地図①，図版②，Approach を活用して，また p.50 の STEP UP をふりかえって，帝国主義期の欧米諸国による国民国家の形成，国家統合の試みとその影響について理解している。 ・p.101 の写真④を活用して，国家間の争いを勝ち抜くために国家の統合をすすめたこと，そのために「国民」意識を浸透させたことを理解している。 b：・帝国主義期に非欧米地域への偏見や差別意識が形成された背景について，p.101 の図版⑤・Check，図版⑥を活用して協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.101 の Try を活用して，よりよい社会の実現を視野に，帝国主義期の排他的な動きについて学習したことを，現在の差別問題の解決に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		28、条約改正	a：・p.103 の表③を活用して，条約改正交渉の経過と結果について理解している。 b：・日本の欧化政策の具体的な内容と，それに対する欧米諸国の認識について，p.102 の Approach，図版①を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.103 の Try，p.97 の Try を活用して，急速な文明の進歩のなかで生じた社会矛盾について学習したことを現代の社会問題の解決に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		29、日清戦争	a：・p.104 の Approach，図版①，地図③を活用して，日清戦争が朝鮮をめぐる対立からはじまり，戦場の多くは朝鮮であったことを理解している。 b：・日本人の「文明国の国民」という自己認識と教育との関連について，p.105 の Close Up コラム，Try，p.90 の STEP UP の記述を活用しながら多面的に考察している。 c：・p104 の図版②を活用して，日本と台湾の歴史について主体的に追究して，学習したことを現代の国際関係の理解に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		30、日露戦争から韓国併合へ	a：・p.106 の図版①，地図②，写真③，Approach，Check を活用して，日清戦争後の中国の状況について，まとめることができる。 b：・日露戦争での日本の勝利がアジア諸地域に与えた影響について，p.107 の Close Up コラム，Try を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.107 の Close Up コラムを活用して，日露戦争について主体的に追究して，日露戦争後の日本の動向を意欲的に考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		31、日本の産業革命と社会問題	a：・p.108 の Approach，写真①，グラフ②，Check を活用して，大規模工場の設立と機械化が，日本の貿易構造を変化させていった状況について理解している。 b：・産業革命の進展のなかで，政府が何を優先させたのかについて，p.109 の Close Up コラムを活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.109 の図版③，Close Up コラム，グラフ⑤，Try を活用して，産業革命によって生じた問題と，現代の社会問題との共通点・相違点について主体的に追究して，学習したことを現代の社会問題の解決に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		32、アジア諸民族の独立運動・立憲革命	a：・p.112 の地図①，Approach，図版②を活用して，20 世紀はじめのアジア諸地域の民族運動の共通点やちがいについて，まとめることができる。 ・日露戦争以後のアジア諸地域では，立憲制や共和政の樹立など，明確な政治目標をもった民族運動が展開されたことを理解している。 ・p.113 の Link コラムを活用して，アジア諸地域が立憲制を確立した日本の近代化をモデルにしたことを理解している。 b：・日露戦争後のアジア諸地域がすすめた近代化について，p.113 の Try を活用して，多面的に考察している。 c：・p.113 の Link コラムを活用して，日露戦争後の日本とアジア諸地域について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
後期	第２編第５章第一次世界大戦と大衆社会	33、緊迫する国際関係	a：・p.126 の地図①，Approach，図版②を活用して，また p.58 の東方問題についての記述，p.98～99 の帝国主義政策の対立についての記述をふりかえって，1890 年を境に変化したヨーロッパの国際関係をまとめることができる。 ・p.127 の地図④を活用して，また，p.59 の地図④をふりかえって、バルカン半島におけるロシアとオーストリアの動向を理解している。 b：・列強の対立軸と第一次世界大戦の勃発にいたるまでの過程について，p.127 の Close Up コラム，地図④，Try を活用して，多面的に考察している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，p.127 の Close Up コラムを活用して，「バルカン問題」について学習したことを，現在の地域紛争の解決に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		34、第一次世界大戦	a：・p.128 の地図①，図版③を活用して，予想に反して長期戦となった第一次世界大戦の展開を理解している。 ・p.129 の地図⑤，Close Up コラムを活用して，ヨーロッパの戦争が世界に拡大したこと理解している。 ・p.98 の帝国主義についての記述をふりかえって，第一次世界大戦の原因となった帝国主義政策の対立について理解している。 ・p.128 の図版②を活用し，また p.50 の STEP UP, p.100 の国民統合の試みについての記述をふりかえって，国家への帰属意識が深まっていく過程についてまとめることができる。 b：・第一次世界大戦が国家体制やヨーロッパ以外の地域に与えた影響，戦争の性格について，p.128 の図版②，Approach，p.129 の Close Up コラム，Try を活用して協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.129 の地図⑤を活用して，大戦中の日本の動向について主体的に追究して，日本と世界大戦のかかわりを意欲的に考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		35、ロシア革命とシベリア出兵	a：・p.130 の図版①，写真②，Approach，p.131 の写真⑤，Try を活用して，大戦中におきたロシア革命の展開と周辺国の対応をまとめることができる。 b：・p.59 のロシアの大改革についての記述をふりかえって，革命をまねいたロシアの国家体制について，多面的に考察している。 ・世界初の社会主義国が成立した背景とその意義について，p.131 の Try を活用して，多面的に考察している。 ・p.131 の Check を活用して，シベリア出兵の日本の目的について，多面的に考察している。 c：・p.130 の図版①・③，写真②，p.131 の写真④，Check を活用して，革命における大衆と指導者の役割について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		36、大戦景気と米騒動	a：・p.132 の Approach，写真①，図版②，グラフ③・④を活用して，第一次世界大戦がもたらした日本経済の変化について，まとめることができる。 b：・第一次世界大戦により好景気となった日本とアメリカの共通点と相違点について，p.132 の記述，p.145 の記述を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.133 の Try，Key Person を活用して，大正デモクラシーが社会に与えた影響と限界について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		37、ヴェルサイユ体制とワシントン体制	a：・p.134 の図版①，地図②，Approach を活用して，大戦後に成立した二つの国際秩序とその目的をまとめることができる。 ・p.134 の地図②を活用し，また p.128 の地図①をふりかえって，大戦前後のちがいについてまとめることができる。 b：・大戦後の平和に向けての試みとその結果について，p.134 の Key Person，p.135 の史料「ウィルソンの十四か条」，Link コラム，Try を活用して協働的に考察し，適切に表現している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，p.135 の Link コラムを活用して，アメリカの外交について学習したことを，現在の国際情勢の理解に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		38、西アジア・南アジアの民族運動	a：・p.138 の地図①，Key Person，p.139 の写真③，Key Person を活用して，大戦後の西アジア・南アジアの民族運動の展開を理解している。 ・p.138 の地図①，表②，Approach を活用し，また，p.125 の地図をふりかえって，英仏の委任統治が植民地支配の継続であったこと，第一次世界大戦が帝国主義戦争であったことを理解している。 b：・西アジア・南アジアにおける列強の支配で生じた諸問題について，p.138 の地図①，表②，Approach を活用して，多面的に考察している。 c：・p.139 の Close Up コラムを活用して，民族資本家の成長について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		39、東アジア・東南アジアの民族運動	a：・p.140 の Approach，図版①・②，史料「三・一独立宣言」，Check を活用して，朝鮮・中国の人々が立ち上がった理由を理解している。 ・p.141 の地図⑤を活用して，国民党が開始した北伐と，共産党の長征の動きを理解している。 b：・この時期の朝鮮・中国・東南アジアの動きや思想と，日本国内の動きや思想について，p.141 の Try，p.133 の Try を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.140 の Approach，p.141 の Try，を活用して，大規模な民族運動がおこなわれた前後の日本の統治方針を比較し，それぞれの評価について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		40、戦間期の欧米	a：・p.144 の写真①，図版②，Approach，p.145 の写真④，図⑤，Try を活用して，大戦後のヨーロッパ諸国の状況を整理，比較してまとめることができる。 ・p.145 の図⑤を活用して，アメリカ資本でドイツの経済復興がすすむなど，アメリカが国際政治や経済で大きな影響をもつようになったことを理解している。 b：・大戦後に世界経済の中心となったアメリカの「光と影」について，p.145 の Link コラム，図版⑥，写真⑦を活用して協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p145 の Link コラム，図版⑦を活用し，また p.101 の弱者への優越感についての記述をふりかえって，人種問題について主体的に追究して，現在の差別問題を理解しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		41、ひろがる社会運動と普通選挙の実現	a：・p.146 の Approach，写真①，図版②，史料「水平社宣言」，Key Person を活用して，日本の社会運動の動きをまとめることができる。 ・p.147 の図版④・⑤を活用して，大衆化の文化について理解している。 b：・第一次世界大戦前後の欧米と日本の共通点と相違点について，p.147 の Try，p.144～145 の記述，p.150～151 の ACTIVE を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.147 の Close Up コラムを活用して，関東大震災直後の流言や自警団の動きなどについて主体的に追究して，学習したことを現代の社会問題の解決に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		42、政党内閣の時代	a：・p.148 の Approach，写真①，表②を活用して，護憲三派の目的と，その後の政党内閣の動きについて，まとめることができる。 b：・憲政会の田中義一内閣の外交における，対アジアと対欧米列強との違いについて，p.149 の史料「田中義一の演説」，写真⑥を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.149 の Try，史料「幣原喜重郎の演説」「田中義一の演説」を活用して，幣原喜重郎の外交方針と田中義一の外交方針のちがいについて，主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	第6章経済危機と第二次世界大戦	43、世界恐慌	a：・p.154 のグラフ②，Approach，Check を活用して，世界恐慌に対する各国の経済政策について，比較して共通点とちがいをまとめることができる。 ・p.145 の図⑤をふりかえって，アメリカを中心とする世界経済が恐慌を拡大させたことを理解している。 ・米英仏によるブロック経済が国際対立を激化させ，ファシズムの台頭をまねいたことを理解している。 b：・世界恐慌と第二次世界大戦の勃発にいたる過程について，p.154 の写真①，p.155 の Try を活用して，多面的に考察している。 ・p.155 の写真④を活用して，世界恐慌と共産主義の拡大について，多面的に考察している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，p.154 のグラフ②を活用して，世界恐慌について学習したことを，現在の国際経済の理解に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		44、ファシズムの時代	a：・p.157 の地図⑤，写真⑥，用語解説を活用して，ドイツ・イタリアの領土拡大の過程と宥和政策について，まとめることができる。 ・p.156 の図版①，写真②，Approach，p.157 の図版③，Check，Try を活用して，ドイツ国民の支持を得たナチ党が選挙を通じて合法的に独裁体制を樹立した過程を理解している。 ・世界的な経済危機が民主主義の危機を招いたことを理解している。 ・p.134 の大戦後の国際秩序についての記述をふりかえって，イタリアやドイツの不満がファシズムの台頭をまねいたことを理解している。 b：・ドイツ人がナチ党を支持した背景について，p.156 の図版①，写真②，Approach，p.157 の図版③，Check，Try を活用して協働的に考察し，適切に表現している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，p.157 の Try を活用して，ファシズムの台頭について学習したことを，民主主義の理解に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		45、満州事変と軍部の台頭	a：・p.158 の Approach，史料「満洲事変後の新聞論調」，地図①，Key Person を活用して，満洲事変，「満洲国」建国の経過と，国内外の反応について，まとめることができる。 b：・日本の軍部の台頭と，ドイツのナチ党の勢力拡大との違いについて，p.159 の Check，p.156～157 の記述を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.159 の Try，p.133 の Key Person，p.149 の Check を活用して，日本が国際的に孤立する道以外の選択肢について，主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		46、日中戦争	a：・p.160 の Approach, 写真①, 地図②, p.161 の Close Up コラムを活用して，日中戦争の経過，日本軍の意識，中国の世論について，まとめることができる。 b：・日中戦争の長期化の要因について，p.160 の Approach，写真①，地図②，Close Up コラム，p.161 のグラフ③，表④，写真⑤を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.161 の Try，グラフ③，表④，写真⑤，Close Up コラム，p.162～163 の ACTIVE を活用して，日中戦争が長期化するなかでの日本と中国の社会の変化，戦争協力のしくみについて，主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		47、第二次世界大戦とアジア太平洋戦争	a：・p.165 の地図③，図版④，写真⑤，Check，Close Up コラムを活用して，アジア太平洋戦争の経過について，まとめることができる。 b：・ドイツとソ連が接近し，独ソ不可侵条約を締結したことに関連して，ドイツの意図，ソ連の意図，イギリス・フランスの反応，日本の反応について，p.164 の Approach，図版①・Check，地図②を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.165 の Try, p.133 の Key Person, p.149 の Check，p.239 の Try を活用して，日本が米英との開戦を避けるための選択肢について，主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		48、戦争と民衆	a：・p.166 の Approach，写真①・②，p.167 の写真③，p.170 の STEP UP を活用して，第二次世界大戦下の迫害と大量殺戮について，まとめることができる。 b：・日本の南部仏印進駐後，インドシナが二重支配体制となったことによる現地住民の負担について，p.167 の図版④・Check を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.166 の Approach，写真①・②，p.167 の写真③，p.162～163 の ACTIVE ，p.170～171 の STEP UP を活用して，多大な犠牲をもたらした戦争の惨禍から学ぶべきことについて，主体的に追究して，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		49、敗戦	a：・p.168 の Approach，写真①・②を活用して，兵力・労働力不足が深刻化するなかで若者が軍隊に召集される状況を理解している。 ・p.169 の地図③，写真④・⑤を活用して，連合軍による空襲を受けた国々の戦争被害と戦意の低下を理解している。 b：・「国体護持」の議論のなか，降伏までに長い時間をかけた日本政府の判断について，p.162～163 の ACTIVE，p.172～173 の ACTIVE を活用しながら多面的に考察している。 c：・戦争の「終結」とはどのような状態であり，その年月日はいつなのかということについて，主体的に追究して，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		50、国際連合と戦後世界	a：・p.174 の写真①，図②，Approach を活用し，また，p.135 の国際連盟についての記述をふりかえって，国際連合と国際連盟を比較して，大戦後の平和をめざす試みやアメリカの関与の仕方のちがいなどについてまとめることができる。 ・p.175 の写真③を活用して，大戦後のヨーロッパですすめられた社会改革について理解している。 b：・ブレトン=ウッズ体制や自由貿易体制と戦争の防止について，p.174 の Check を活用して大戦と恐慌の関係について協働的に考察し，適切に表現している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，p.175 の Try を活用して，国際連合について学習したことを，現在の国際情勢の理解に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		51、戦後と占領の始まり	a：・p.176 の Approach，地図①・②を活用して，ドイツが分割占領されたのに対し，日本が実質的にアメリカの単独占領に近かった状況と，そのことがもたらす影響について理解している。 ・p.177 の図版③，写真⑤を活用して，戦後の復員・引揚げ後も残された問題，戦争孤児への差別など，戦争による被害の大きさを理解している。 b：・日本の全国紙に掲載されたマッカーサーと昭和天皇の写真が，多くの日本人に驚きをもって迎えられたことについて，p.176 の Key Person を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.177 の Try，写真④を活用して，日本とドイツの占領政策，裁判の違いがその後の歴史に与えた影響について，主体的に追究して，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		52、民主化と日本国憲法	a：・p.178 の年表②を活用して，連合国による日本の占領初期の改革について，まとめることができる。 ・p.178 の Approach，史料「日本国憲法前文」「日本国憲法条文」，図版①，p.179 の Link コラム，Check を活用して，日本国憲法の主な内容について，まとめることができる。 b：・他の憲法・条約との比較を通じてみえてくる日本国憲法の特徴について，p.178 の Approach，史料「日本国憲法前文」「日本国憲法条文」，図版①，p.179 の Link，Check，Try ，p.93 の史料「大日本帝国憲法」，p.144 の史料「ヴァイマル憲法」，p.236 の史料「不戦条約」を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.179 の写真④を活用して，選挙法の改正によって女性参政権が認められ，日本国憲法で男女同権が定められているにもかかわらず，女性議員があまり増えてこなかった理由について，主体的に追究して，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		53、冷戦の開始	a：・p.180 の写真①・③，地図②，Approach，p196 の地図①，Approach，を活用して，冷戦が経済体制の相違から生じていること,また,冷戦構造の構築の過程について理解している。 ・p.181 の写真④を活用して，ドイツ以外にアジアでも国家が分断され，現在も継続していることを理解している。 b：・冷戦のアジアへの影響と国家の分断について，p.181 の写真④，Key Person，Try を活用して，多面的に考察している。 c：・p.181 の史料「ベトナム独立宣言」を活用して，アメリカ独立宣言の普遍性とその意義について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		54、朝鮮戦争と日本	a：・p.182 の Approach，写真②，表③，Check を活用して，朝鮮戦争と日本のかかわりについて理解している。 b：・サンフランシスコ平和条約による西側諸国との講和成立，日米安全保障条約の調印と，朝鮮戦争との関係について，p.182 の Approach，写真②，表③・Check，p.183 の写真④・⑤，史料「日米安全保障条約」，Key Person を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.183 の史料「日米安全保障条約」を活用して，日米安全保障条約に反対した人や，改定を主張した人が，それぞれ批判した条約の箇所について，主体的に追究して，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	第3編グローバル化と私たち	55、冷戦対立の推移	a：・p.180 の冷戦についての記述をふりかえって，また p.196 の地図①，Approach，写真②，p197 の Try を活用して，アジアとヨーロッパの冷戦を年表に整理して，まとめることができる。 ・p.182 の朝鮮戦争についての記述をふりかえって，また p.196 の写真②を活用して，冷戦の代理戦争となった朝鮮戦争の展開と，現在も休戦状態であることを理解している。 b：・米ソの冷戦の緊張と緩和をうながした国際情勢について，p.195 の写真①と p.197 の写真③，Key Person を活用して協働的に考察し，適切に表現している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，p.197 の写真③，key Person を活用して，キューバ危機と核の脅威について学習したことを，現在の国際情勢の理解に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		56、植民地の独立と第三世界の出現	a：・p.200 の地図①，p.201 の地図②，写真④，Approach を活用し，また，p.71 の地図④，p.99 の地図④をふりかえって，植民地の独立の過程について理解している。 ・冷戦下において，かつて植民地とされていた米ソに属さない第三勢力が独自に国際平和をめざしたこと，その動きが冷戦に与えた影響を理解している。 b：・植民地支配がアフリカ諸国に与えた影響について，p.200 の地図①，Check を活用し，また p.99 の地図④をふりかえって，多面的に考察している。 ・平和十原則や非同盟運動の歴史的意義について，p.201 の写真④，Try を活用して協働的に考察し，適切に表現している。 c：・「南北問題」について学習したことを，その後に生じた「南南問題」など新たな課題の解決に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		57、米ソ両陣営の動揺	a：・p.204 の写真①，p.205 の写真③を活用して，1960～70 年代の国際関係の展開を年表に整理して，まとめることができる。 ・p.196 の冷戦についての記述をふりかえって，1960～70 年代の国際政治の転換を理解している。 b：・ベトナム戦争や中ソ対立による米ソの威信の低下とその影響について，p.204 の写真①，Approach，p.205 の写真③，Try を活用して協働的に考察し，適切に表現している。 ・文化大革命が中国社会に与えた影響について，p.205 の写真⑤，Try を活用して，多面的に考察している。 c：・よりよい社会の実現を視野に，米中の関係の変化について学習したことを，現在の国際情勢の理解に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		58、日本の国際社会復帰と高度経済成長	a：・p.206 の写真③，p.207 の史料「日中共同声明」を活用して，日ソ関係，日米関係，日韓関係，日中関係と冷戦期の国際情勢との関連について，まとめることができる。 b：・安保改定に反対する動きが拡大した理由について，p.206 の Approach，写真①，史料「新安保条約」，p.183 の史料「日米安全保障条約」を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.207 の Close Up コラム，写真④・⑤を活用して，東京オリンピックの開催にあわせて都市部の整備がすすむ一方で，高度経済成長が残した問題について，主体的に追究して，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		59、石油危機と世界経済	a：・p.214 の Approach，写真①，グラフ②・Check を活用して，石油危機が与えた影響を，国際政治・経済，各国の社会生活の観点から，まとめることができる。 b：・先進国首脳会談が開かれた背景と，その後の先進国首脳会談で意見交換される内容について，p.215 の写真④，p.228～231 の記述を活用しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c：・p.215 の Try，写真④，Key Person，p.228～231 の記述を活用して，新自由主義登場の背景と，新自由主義がその後の社会にもたらした影響について，主体的に追究して，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		60、緊張緩和から冷戦の終結へ	a：・p.218 の写真②，Approach，p.219 の Key Person を活用し，また p.180，p.196，p.204 の冷戦についての記述をふりかえって，冷戦終結までの展開を年表に整理して，まとめることができる。 ・p.213～214 の地図，p.219 の Key Person を活用して，社会主義体制の行き詰まりとソ連の改革を理解している。 b：・1970 年代以降の社会主義陣営の変容や 80 年代のソ連の改革とその影響について，p.219 の Key Person，Try を活用して，多面的に考察している。 c：・p.219 の Check を活用して，新冷戦について主体的に追究して，同時期の日本の動向について理解しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		61、地域協力の進展	a：・p.220 の地図①・②，Approach を活用して，ヨーロッパやアジアの地域協力について理解している。 b：・地域の経済統合の意義と課題について，p.221 の Try を活用して協働的に考察し，適切に表現している。 ・地域協力の進展がうながした世界規模の人の動きとそれによって生じた諸問題について，p.221 の写真③・④・⑤を活用し，また p.63 の世界の緊密化についての記述，p.100 の移民についての記述をふりかえって協働的に考察し，適切に表現している c：・よりよい社会の実現を視野に，p.221 の Link コラムを活用して，現在の難民問題の解決に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		62、日本の経済大国化	a：・p.224 の Approach，グラフ①，p.225 の表⑤を活用して，戦後日本の経済成長の推移について，国際関係と関連づけて理解している。 b：・1986 年から 91 年まで続いた大型好景気の裏で進行していた問題について，p.225 のグラフ③，写真④，グラフ⑥を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.225 の表⑤，p.215 の内容を活用して，1980 年代に長く政権にあった中曽根政権がその後の社会に与えた影響について，主体的に追究して，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		63、冷戦体制の終結	a：・p.227 の地図③・Check を活用して，冷戦終結後に紛争が多発した地域とその理由について理解している。 b：・アパルトヘイトの歴史と，反アパルトヘイト運動の歴史が遺したものについて，p.227 の Key Person，p.99 の記述を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.226 の Close Up コラム，p.128 の地図①，p.134 の地図②を活用して，ユーゴスラヴィアの歴史と内戦の背景について，主体的に追究して，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		64、地域紛争と世界経済	a：・p.228 の Approach，写真①・②，Close Up コラムを活用して，2001 年以降に目立ちはじめた戦争の新たな形について理解している。 b：・1873 年の大不況，1929 年の世界恐慌，2008 年の世界金融危機の共通点や相違点について，p.98 の記述，p.154 の記述を活用して協働的に考察しながら適切に表現している。 c：・p.229 の Try，p.230～231 の記述を活用して，グローバル化のメリットとデメリットについて，主体的に追究して，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		65、グローバルな認識へ	a：・p.230 の Approach, 写真①, 図版②, Close Up コラム，p.231 の写真③・④を活用して，グローバル化のもとでの世界が直面する課題と，それに対応しておこなわれている取り組みについて，まとめることができる。 b：・グローバル化のもとでの世界が直面する課題の主な要因と経過について，折込３の地図，p.190～193 の記述を活用しながら多面的に考察している。 c：・p.231 の Try，写真③・④，Check，Key Person を活用して，現代の日本に求められていることについて，主体的に追究して，学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度